

問 題 用 紙

【コース共通】

国土舘大学大学院 経営学研究科 修士課程 経営学専攻 専門科目

《 令和 7（2025）年度 第 I 期 入試問題 （100 点満点） 》

試験時間 令和 6 年 9 月 2 1 日 10：00～11：00

[注意事項]

1. 第 1 志望専修科目が「経営組織論」（修士論研究コース志願）である者は、【経営組織論】を選択して解答してください。それ以外の者は、以下の問題から 1 題を自由に選択して解答してください。
2. 答案用紙には、まず志望コース名、受験番号と氏名を記入し、次に選択した専門科目名を 1 つ書いてから解答してください。
3. 答案用紙に 2 題以上解答が記入されていた場合、採点されませんので注意してください。
4. 参考書・辞書の持込はできません。
5. 問題用紙は、答案用紙とともに回収します。
6. その他、試験開始前の注意事項をよく聞いてください。

専門科目名【事業創造論】

まず志望コース名・受験番号・氏名、次に選択した専門科目名を記入し、解答にあたり問題番号〔(1)、(2) など〕を書いてから解答しなさい。

問題. 次の3つの小問題それぞれについて解答しなさい。

- (1) 代表的な起業手法（メソッド）であるエフェクチュエーションの概要を説明しなさい。特に、コーゼーションとの対比からその特徴を明らかにすること。(30点)
- (2) 以下のキーワードについて、それぞれその内容を説明しなさい。(各 20点)
 - ①キャズム理論
 - ②ベンチャー・キャピタル
- (3) 事業創造（新しいビジネスの創出）において、①ビジネスプラン（事業計画書）を作成することの重要性、②ビジネスプランの作成手順と主な内容、③ビジネスプランの成功例、失敗例について説明しなさい。(30点)

専門科目名【経営情報論】

まず志望コース名・受験番号・氏名、次に選択した専門科目名を記入し、解答にあたり問題番号〔(1)、(2) など〕を書いてから解答しなさい。

問題. 次の3つの小問題それぞれについて解答しなさい。

(1) 次の(ア) から (オ) の5つの中から2つを選択して、それぞれを説明しなさい。

(各 20 点)

(ア) データフローダイアグラム

(イ) 組織的知識創造理論

(ウ) グループウェア

(エ) 意思決定支援システム

(オ) エンドユーザ・コンピューティング

(2) 企業活動における情報システムの役割について説明しなさい (30 点)。

(3) インターネットビジネスの出現による、消費者の購買行動の変化について述べなさい (30 点)。

専門科目名【経営史】

まず志望コース名・受験番号・氏名、次に選択した専門科目名を記入し、解答にあたり問題番号〔(1)、(2) など〕を書いてから解答しなさい。

問題. 次の3つの小問題から2つを選んで解答しなさい。(100点)

(1) 戦後の日本的経営の特徴の1つである「メインバンク・システム」について、以下の順序で説明せよ。

①メインバンクを簡単に説明しなさい。

②メインバンク・システムの機能を以下の用語を使用して説明しなさい。

用語：モニタリング機能、情報の非対称性、審査コスト。

③その他、メインバンク・システムについて追加的に説明しなさい。

(2) 日本では戦後改革を経て財閥は完全に解体されたが、1950年代から70年代にかけて6大企業集団が形成された。6大企業集団について以下の順序で説明しなさい。

①企業集団が形成された理由を、以下の用語を使用して説明しなさい。

用語：財閥解体、安定株主、敵対的買収、株式相互持合い。

②企業集団には、系列融資、株式の相互持合い、社長会、同系商社による集団内取引などの基本的特徴があるが、それぞれの特徴を簡単に説明し、そのメリットを説明しなさい。

③「株式の相互持合い」には、経営者の主権（経営者の戦略的決定の自由度）を株主から保証する機能がある。その理由を説明しなさい。

(3) 戦後の日本的経営の特徴の1つである労使関係（日本的雇用慣行）、即ち、「終身雇用制」、「年功序列型賃金」、「企業別労働組合」について、それぞれの意味とメリット・デメリットを説明しなさい。

専門科目名【国際経営論】

まず志望コース名・受験番号・氏名、次に選択した専門科目名を記入し、解答にあたり問題番号〔(1)、(2) など〕を書いてから解答しなさい。

問題. 次の4つの小問題それぞれについて解答しなさい。(100点)

- (1) ダニングらによって提唱され OLI パラダイムの「O」と「L」と「I」のもとの英単語を記入しなさい。
- (2) OLI パラダイムの「O」と「L」と「I」のそれぞれについて 200 字程度（合計 600 字程度）で内容を説明しなさい。
- (3) Bartlett & Ghoshal (1989) によって提唱された「トランスナショナル経営」について、400 字程度で説明しなさい。
- (4) Hedlund (1986) が提唱した多国籍企業の組織モデルである、「ヘテラーキー・モデル」とはどのような概念か。400 字程度で説明しなさい。

国士舘大学大学院 経営学研究科 修士課程 経営学専攻
専門科目

専門科目名【生産管理論】

まず志望コース名・受験番号・氏名、次に選択した専門科目名を記入し、解答にあたり問題番号〔(1)、(2) など〕を書いてから解答しなさい。

問題. 次の2つの小問題それぞれについて解答しなさい。(100点)

(1) 製品アーキテクチャとは何か説明しなさい。

(2) 日本的品質管理が形成された理由を歴史的背景に触れながら説明しなさい。

専門科目名【事業戦略論】

まず志望コース名・受験番号・氏名、次に選択した専門科目名を記入し、解答にあたり問題番号〔(1)、(2) など〕を書いてから解答しなさい。

問題. 次の3つの小問題それぞれについて解答しなさい。

- (1) 業界のリーダー企業が採るべき戦略の特徴を、チャレンジャー企業やフォロワー企業の戦略と比較しながら説明しなさい。(30 点)
- (2) SWOT 分析を用いた戦略策定とはどのようなものか。SWOT 分析の内容や手順に触れながら説明しなさい。(30 点)
- (3) 企業の競争優位を説明する考え方として、「ポジショニング・スクール : positioning school」と「リソース・ベースト・ビュー : resource-based view of the firm」といわれる二つの学説が存在する。両者の違いが分かるように説明しなさい。(40 点)

専門科目名【経営組織論】

まず志望コース名・受験番号・氏名、次に選択した専門科目名を記入し、解答にあたり問題番号〔(1)、(2) など〕を書いてから解答しなさい。

問題. 次の4つの小問題それぞれについて解答しなさい。

- (1) マズローの欲求段階説について説明しなさい。(20点)。
- (2) マグレガーのX理論・Y理論について説明しなさい。その際、できるだけマズローの欲求段階説との関連性にも言及しなさい(25点)。
- (3) ハーズバーグの二要因仮説について説明しなさい。その際、できるだけマグレガーのX理論・Y理論との関連性にも言及しなさい(25点)。
- (4) (最初期の動機づけ理論として登場した) マグレガーのY理論とハーズバーグの二要因仮説に共通する特徴について説明しなさい。また、そうした共通の特徴は、最初期の動機づけ理論の限界にもなっていくが、最初期の動機づけ理論が抱えていた限界についても言及しなさい(30点)。

専門科目名【マーケティング論（データサイエンス）】

まず志望コース名・受験番号・氏名、次に選択した専門科目名を記入し、解答にあたり問題番号〔(1)、(2) など〕を書いてから解答しなさい。

問題. 次の4つの小問題それぞれについて解答しなさい。

- (1) 製品ライフサイクルの4段階の特徴がよくわかるようにグラフを描きなさい (16 点)
- (2) 4段階それぞれの市場について、特徴を説明しなさい (36 点)
- (3) 4段階それぞれに応じたマーケティング・ミックスについて説明しなさい (36 点)
- (4) 製品ライフサイクル理論の問題点や欠点について説明しなさい (12 点)

専門科目名【企業論】

まず志望コース名・受験番号・氏名、次に選択した専門科目名を記入し、解答にあたり問題番号〔(1)、(2) など〕を書いてから解答しなさい。

問題. 次の2つの小問題それぞれについて解答しなさい。

- (1) 今日の日本において、「株式会社」は全ての会社形態の中で9割以上を占める最も支配的な形態となっている。なぜ株式会社が支配的な会社形態となったのか、株式会社の歴史的発展、他の会社形態との違いや特徴に注目して説明しなさい。(50点)

- (2) 日本の会社経営において、「コーポレート・ガバナンス改革」の重要性が指摘されている。まず、「コーポレート・ガバナンス」とは何かについて、理論的に説明しなさい。また、改革の一環として2015年に公表された「コーポレートガバナンス・コード」に関し、その特徴と基本原則について説明しなさい。(50点)

専門科目名【財務会計論】

まず志望コース名・受験番号・氏名、次に選択した専門科目名を記入し、解答にあたり問題番号〔(1)、(2) など〕を書いてから解答しなさい。

問題. 次の4つの小問題それぞれについて解答しなさい。

- (1) 会計理論上における財務会計の機能（または目的）について、当該機能の名称を挙げ、具体的な内容について説明しなさい。(20 点)
- (2) 日本の制度会計上における財務会計の機能（または目的）について具体的な法制度も挙げ、その内容と差異について説明しなさい。(30 点)
- (3) 評価基準（測定属性または測定の基礎）のうち、割引現在価値について説明しなさい。(20 点)
- (4) 割引現在価値について、日本の会計基準上どのように活用されているか、具体例を挙げ、その内容について説明しなさい。(30 点)

専門科目名【原価計算論】

まず志望コース名・受験番号・氏名、次に選択した専門科目名を記入し、解答にあたり問題番号〔(1)、(2) など〕を書いてから解答しなさい。

問題. 次の4つの小問題それぞれについて解答しなさい。(100点)

- (1) 原価計算制度における原価の本質として挙げられている4点について説明しなさい。
- (2) 製造原価における発生形態による分類および製品との関連にもとづく分類について、総原価との関係また製品原価および期間原価についても言及し説明しなさい。
- (3) 個別原価計算と総合原価計算について、その異同も含め説明しなさい。なお、適用される生産方式にも言及すること。
- (4) 関連原価、埋没原価および機会原価について、具体例を示し説明しなさい。

専門科目名【制度会計論】

まず志望コース名・受験番号・氏名、次に選択した専門科目名を記入し、解答にあたり問題番号〔(1)、(2) など〕を書いてから解答しなさい。

問題. 次の4つの小問題それぞれについて解答しなさい。

- (1) 資産負債中心観（アプローチ）の意義（定義）について説明し、同中心観（アプローチ）における資産・負債の意義（定義）について説明しなさい。(30点)
- (2) 上記(1)の資産負債中心観（アプローチ）と収益費用中心観（アプローチ）の相違について、資産を例にして説明しなさい。(20点)
- (3) 上記(1)の資産負債中心観（アプローチ）における包括利益・純利益・その他の包括利益の意義（定義）について説明しなさい。(30点)
- (4) 日本の制度会計においては当期純利益だけでなく包括利益も表示するが、包括利益も表示する目的について説明しなさい。(20点)

専門科目名【財務分析論】

まず志望コース名・受験番号・氏名、次に選択した専門科目名を記入し、解答にあたり問題番号〔(1)、(2) など〕を書いてから解答しなさい。

問題. 次の3つの小問題それぞれについて解答しなさい。(100点)

(1) 損益分岐点分析とは何か、説明しなさい。

(2) 安全余裕率とは何か、説明しなさい。

(3) 損益分岐点分析を行うにあたっての前提条件について説明しなさい。

専門科目名【会計史】

まず志望コース名・受験番号・氏名、次に選択した専門科目名を記入し、解答にあたり問題番号〔(1)、(2) など〕を書いてから解答しなさい。

問題. 次の2つの小問題それぞれについて解答しなさい。(100点)

- (1) 日本における戦後の公認会計士法制定の背景を説明しなさい。公認会計士制度と、戦前の計理士制度との違いにも言及すること。
- (2) 日本における明治初期の西洋簿記の伝播について、教育と実務のそれぞれの視点から説明しなさい。